

令和5年度 乳児院事業計画

1. 事業計画の概要

乳児院は、乳幼児総合支援センターとして高機能な専門的支援を国から要望されており、増加する虐待問題に対して予防的な取り組みや里親支援の拡充など幅広い支援を期待されている。その実現のためには、職員個々のスキルアップ充実と組織の強化が必要であり、FY2023-2027 中長期計画を基にアクションプランを策定し計画的に実施する。

- ・子ども達の『最善の利益』を中心に考察する中で他機関との連携強化を図る。
- ・虐待が起きない予防的な関わりとして、BP1プログラムを乳児保育園の職員と一緒に開催し、各子育て家庭の孤立感を払拭し地域の連帯感を深める場を提供する。
- ・尊い命の安全と安心を守るため、一時保護専用室の運営を継続する。
- ・入所児童に対しては、アタッチメントを軸に関わることで心の安心と安全を保障する。
- ・フォスタリング機関(結い)への人材配置や人材育成を充実させ、リクルート～研修～マッチング～支援と一貫したフォスタリング業務を実現し、関係機関と連携しながらも結いらしさを活かした包括的な里親支援体制を確立する。

2. 財務の視点(財務基盤等の安定)

(1) 財務基盤の安定を図る

- ・入所定員を満たせるように職員を確保する。
- ・加算事業及び補助金助成金の申請をする。
- ・ショートステイ事業と一時保護専用室の利用児童の増加。
- ・支出の見直しを行う(光熱水費・消耗品費等)。
- ・里親支援機関結いへの必要な人材の配置。

3. 顧客の視点(サービスの質の向上・新規サービス・環境整備・地域貢献等)

(1) 養育の質を高める

- ・家庭的養育についての考え方の共有をするためマニュアルを作成する。
- ・ユニット調理を週2回実施する。
- ・リハビリを必要とする子どもに対する院内でのリハビリ時間の確保をする。
- ・ぱぷりかに参加できない年長児の保育の時間を確保する。
- ・個別外出や社会体験の積み重ねを計画的に取り組み個別化を意識した養育を行う。

(2) 育ちをつなげる

- ・四恩たまみず園との事例検討会を実施する。
- ・他施設とのライフストーリーワークの継続的な関わりのためのルールを作る。

(3) 多機能化を進める

- ・ショートステイルールの見直し。
- ・里親支援専門相談員を増やす。
- ・フォスタリング機関(結い)の継続と機能強化。
- ・里親との信頼関係の構築、相談しやすく協働できる環境の創造。

(4) 地域子育て支援活動を進める

- ・BP1プログラムを乳児院と乳児保育園の職員が共催する。
- ・大阪市の育児応援サポーターを受諾するための環境整備を行う。
啓発活動の継続と新規開拓やSNS(ホームページ・Instagram)の活用。

(5) 雇用環境の充実

- ・ユニット、グループリーダー退任後にサポートしてくれる『黒子手当』の新設や夜勤手当、家賃補助などの全体的な手当の見直しをする。
- ・階層別にできることを作り働きがいのある実力を発揮できる職場作りをする。

4. 内部統制の視点(働きやすい職場環境・労働環境等)

(1) 業務の効率化

- ・管理職のノー残業デイを実施する。
- ・ULと主任、副主任の残業を月20時間以内とする。
- ・会議の整理と権限委譲を取り纏める。

(2) 人材確保

- ・ボランティア受け入れの整備と見直しを行い受け入れ体制を整える。
- ・養成校へのアルバイト求人を送付を行う。
- ・部分的パート職員の採用を行う。

(3) 施設のプロモーション

- ・ホームページのブログを月1回更新する。
- ・ホームページのブログに動画を載せる。
- ・出身校への訪問とパンフレット設置をお願いする。

(4) 働きやすい職場作り

- ・新規雇用形態の作成をする。
- ・OJTができる環境整備を実施する。
- ・メンター制度の充実を図る。

(5) 関係機関との協働

- ・住吉区子育て支援室と情報共有を行いショートステイの案内を行う。
- ・個別ケース会議へ参加する。
- ・住吉区子育て支援室との連携を強化する。

5. 学習と成長の視点(雇用・人材育成・キャリアアップ等)

(1) 職員のスキル向上

- ・乳児院の振り返りチェックシートを継続し丁寧な面談を実施する。
- ・研修の充実と強化を図る。
- ・フォスタリング機関(結い)の職員を養成する。

(2) 法人施設間の連携

- ・地域子育て支援を保育園と実施する。
- ・児童養護施設四恩たまみず園と事例検討会を開催する。
- ・地域密着型特別養護老人ホームと一緒に行事を実施する。
- ・障がい者雇用の仕事内容を法人全体で考える。
- ・児童館の夏休みボランティアの受け入れを実施する。